

■ 本部事務所 ☎(082)831-5011 FAX(082)831-5013 Eメール:asami@shakyohiroshima-city.or.jp
 ■ 佐東老人いこいの家 ☎(082)879-7880(FAX兼)

「福祉は コミュニティづくり」

梅林学区
社会福祉
協議会

梅林学区は、安佐南区の北部に位置し、平地と急こう配地で形成されている地域です。梅林学区社会福祉協議会の取り組みのひとつに、高齢者のひとり世帯を対象にした、“一人暮らしふれあいサロン”があります。

佐東老人いこいの家で約20年続いており、和やかな雰囲気の中でおしゃべりに華がさき、参加者は月1回の開催を楽しみにされています。

また、12月末には、民生委員さんの協力により、高齢者のひとり世帯の方に年越しそばを配り、年末年始の過ごし方などを伺いながら継続的にコミュニケーションも図られています。

地域のつながりを意識された取り組みはサロンに限らず、今年の4月に開催し37回目の開催となった「学区民ふれあい運動会」や「盆踊り大会」も、老若男女を問わない、誰もが交流できるふれあいのひとつの場になっています。

平成26年8月の豪雨災害の経験から、役員だけではなく地域に住んでいる人がよりコミュニティを意識するようになり、夜間の避難訓練を実施し、足の不自由な人をどうするかといったことも気にかける意識も高まった町内会もあります。

学区社協の菅原会長は、「安全で住みよい地域づくりをテーマに、平成28年に立ち上がった梅林学区復興まちづくり協議会でも道路などの物理的なことだけではなく、コミュニティづくりについても話し合っていきたい」と現在の取り組みについて話されました。「高齢者だけではなく、若い人たちとのつながりも大切にしていきたい」と同社協の関本事務局長も話され、コミュニティを意識された地域づくりに取り組まれています。



みんな元気で 活躍しています

原南学区
社会福祉
協議会

原南学区社会福祉協議会では、地域の結びつきを深めるために、助け合いや交流活動を盛んに行っています。

活動拠点が原南小学校の隣にあり、見守り活動やあいさつ運動をはじめとして小学生との交流が盛んです。

6月22日に、ボランティアバンク「はらみなみ」のメンバー7人が、原南小の囲碁・将棋クラブを訪問し、子どもたちに駒の進め方を教えたり、対局を行うなどし、和やかに活動されました。藤井四段の連勝記録更新の影響で、子どもたちの将棋や囲碁への関心は高く、真剣に取り組んでいました。

この毎月1回のボランティア活動は今年で3年目に入りますが、メンバーには元気な90歳の高齢者もおられます。

こうした世代間の交流のほか、原南学区社協では「介護予防・日常生活支援総合事業」の先行実施団体として、地域に住む高齢者のちょっとした日常生活の支援も行っています。庭木の剪定や窓ガラスの掃除など、介護保険では出来ない支援をすることで、地域住民のみなさんにとっても喜ばれています。

また、高齢者の交流サロンにおいても、介護予防を意識した「いきいき100歳体操」に新たに取り組みはじめました。様々な活動を通じて「閉じこもりゼロ」の元気な原南を目指しています。



学区(地区)社会福祉協議会とは？

地域住民の生活向上、福祉増進を図り、地域の連携と発展に寄与するため、活力と思いやりのある福祉のまちづくりを推進することを目的とした地域の自主的団体です。

構成は地区の住民(町内会、自治会)、機能別・世代別の団体(民生委員児童委員協議会、女性会、体協、PTA、老人クラブ、子ども会)などで構成されています。

おおむね、小学校区単位をエリアとした地区社会福祉協議会として、安佐南区には25団体、広島市内では138団体が組織されています。



これから、この広報紙で、安佐南区内の学区(地区)社会福祉協議会を、2学区ずつ紹介させていただきます。

～主な取り組み～

① 住民同士が顔を合わせて、なじみの関係をつくっていく居場所などの取り組み
「ふれあい・いきいきサロンづくり」

② 気がかりな人の孤立防止、変化の早期発見。
気にかける取り組み
「近隣ミニネットワークづくり」

③ たすけあいのある地域づくり。困ったときに相談できる地域づくりの取り組み
「地区ボランティアバンクづくり」



**赤い羽根
共同募金のお礼**

赤い羽根共同募金

「赤い羽根共同募金」へのご協力をありがとうございました。皆さまからお寄せいただいた募金、「赤い羽根共同募金」は区社会福祉協議会の「新福祉のまちづくり総合推進事業」や高齢者支援、障害者支援、子育て支援等々の福祉活動に使わせていただいております。



紙面をお借りして、募金をくださった地域の皆様、活動にご尽力いただいた関係者の皆様にお礼申し上げますとともに今後とも、「じぶんの町をよくするしくみ」のひとつとして、共同募金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成28年度
募金実績額

16,236,640円
平成29年3月31日現在

第8回

安佐南区ボランティアまつり

開催告知

日時 平成29年9月24日(日)
10:00~15:00

場所 安佐南区総合福祉センター

内容 ボランティア活動体験、ステージ発表、健康相談、販売・バザーコーナー、縁日・遊びコーナー、災害について考えるコーナー など



昨年は『きてみんさい ずっとつながる なないろの虹』をテーマに開催し、500名を超える方々にご来場いただき、盛況のうちに開催することができました。

今年は『広げよう地域のチカラとつながるココロ』をテーマに、実行委員会が中心となって楽しみながらつながりを持っていただけるようなまつりを目指し準備を進めています。

皆様のお越しをお待ちしています。



安佐南区ボランティア連絡会の加入グループを紹介します。



私たち“MaMaぽっけ”は、子育てサークル出身の母親を中心に、自分たちの経験を活かして、子育てサークルの活動のおもしろさや、子育て仲間のすばらしさを伝えていこう!をモットーに平成14年5月より活動しています。

子育てサークルとは、幼稚園や保育園に通う前の子どもたちをもつお母さんたちが中心となり、地域の公民館や集会所などで活動を行っているグループです。

今般、私たち“MaMaぽっけ”が、地域の皆さんと活動を積み重ねてきたことを認めて頂き、国際ソロプチミスト広島さまより「広島8.20土砂災害 復興支援金」を頂きました。現在、「～なんとなく不安だけど、何もしていないママへ～ママの防災ぽっけ」という子育て世代向け防災冊子づくりや、「ママのための授乳コーナー」簡易テント購入など、お母さんたちの視点で子育て世代の防災を進めています。

ひとりぽっちの子育てでは、本当に辛いものです。地域ぐるみの子育てを願い、ママ視線での子育て支援活動を展開していけたらと思っています。

寄付は地域を支える第一歩

寄付についてのご案内

皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。

☆このようなときに、寄付というのはどうでしょうか？

- 長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として
- フリーマーケット・チャリティバザーなどの収益金を
- グループの忘年会、会合などの会費の一部を
- 香典返しに代えて
- お店などの募金箱から

いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

- ☆主な寄付金の使途
- 地域福祉事業
 - 障害児者福祉事業
 - ひとり親福祉事業
 - ボランティア事業

☆寄付金のお申し込み・お問い合わせ先
広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL(082)831-5011 FAX(082)831-5013



まっぴんご感謝します

お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。

（平成二十九年一月一日）
平成二十九年八月三十一日まで 一受付順）
○一般寄附
広島美しい街協同事業協会 様
匿名 四名



お気軽にご相談ください

無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。下記参照までお問い合わせください

弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00~15:00 (要予約)
金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

まちの保健室

在宅看護職の会が健康相談を行います。
佐東老人いこいの家
第1・3月曜日
10:30~12:00
祇園福祉センター
第2・4水曜日
13:00~15:00

子育て・サークル相談

第1・2・3火曜日
10:00~12:00
先輩ママ“MaMaぽっけ”による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ！

掲載記事へのご意見・感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局
〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013
E-mail:asami@shakyohiroshima-city.or.jp

